

事務事業名		議会広報支援事務			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																																
政策体系	政策名	08 自立した行政経営の確立			事業期間		予算科目																																
	施策名	35 効率的で質の高い行政運営の確立					会計	款	項	目	事業																												
	基本事業名	01 成果重視の行政運営の推進					01	01	01	01	03																												
根拠法令	地方自治法109条、109条の2、110条																																						
所属	部課名	議会事務局			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度  ※全体計画欄の総投入量を記入																																		
	課長名	金野敏夫																																					
	係名	議事係	電話	27-3111																																			
	担当者	水野克恵	内線	240																																			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 定例会ごとに、議員の編集により議会だよりを作成し、市内全戸等へ配布(年4回)している。印刷契約、原稿の校正・編集・写真撮影、発注、全戸配布のための庁内作業等において、事務局職員が支援している。 また、会議録を作成し、市ホームページの会議録検索システムに掲載している。システムの管理運営は、業者に委託している。 さらに、市民がより気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようにすることで、「開かれた大船渡市議会」のイメージアップとともに、市民にとって議員活動を理解する一手段となり、議会に対する関心が深まることを目的に、25年度から議会中継を実施している。25年度から市民ホールへの議場中継を開始したほか、今後はインターネット中継の実施に向けて取り組む。議場放送・映像中継設備の保守を業者に委託している。					全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計(A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0			トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金																																					
		都道府県支出金																																					
		地方債																																					
		その他																																					
		一般財源																																					
		事業費計(A)	0																																				
人件費		正規職員従事人数																																					
		延べ業務時間																																					
		人件費計(B)	0																																				
		トータルコスト(A)+(B)	0																																				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・議会だよりを定例会ごとに作成し、市内全戸へ配布(年4回)。 ・会議録の作成、会議録検索システムの管理運営等。 ・議場中継の実施。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・議会だよりを定例会ごとに作成し、市内全戸へ配布(年4回)。 ・会議録の作成、会議録検索システムの管理運営等。 ・議場中継の実施。インターネット中継の実施を検討する。		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 発行回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 会議録の作成</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 議場中継</td> <td>回</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 発行回数	回	イ 会議録の作成	回	ウ 議場中継	回
名称	単位										
ア 発行回数	回										
イ 会議録の作成	回										
ウ 議場中継	回										
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象) 議会だより編集委員会 (間接の対象) 市民		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 議会だより編集委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク 議員数</td> <td>人</td> </tr> </table>		名称	単位	カ 議会だより編集委員数	人	キ 人口	人	ク 議員数	人
名称	単位										
カ 議会だより編集委員数	人										
キ 人口	人										
ク 議員数	人										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 編集委員会の編集、発行がスムーズにいくように支援する。 市民に議会の活動が速やかに、かつわかりやすく伝えられる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 予定日に発行できた割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 会議録のHPへの掲載率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス 議場中継の実施率</td> <td>%</td> </tr> </table>		名称	単位	サ 予定日に発行できた割合	%	シ 会議録のHPへの掲載率	%	ス 議場中継の実施率	%
名称	単位										
サ 予定日に発行できた割合	%										
シ 会議録のHPへの掲載率	%										
ス 議場中継の実施率	%										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 計画的に質の高い行政運営がなされている。											

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,004	3,612	3,726	6,336	5,300	5,300
	事業費計(A)		千円	3,004	3,612	3,726	6,336	5,300	5,300
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	220	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	880	800	800	800	800	800
	トータルコスト(A)+(B)		千円	3,884	4,412	4,526	7,136	6,100	6,100
⑤活動指標	ア	回		4	5	4	4	4	5
	イ	回		35	35	35	4	4	4
	ウ	回		4	4	7	10	10	10
⑥対象指標	カ	人		8	7	7	7	7	7
	キ	人		39,376	39,117	38,871	38,871	38,871	38,871
	ク	人		25	20	20	20	20	20
⑦成果指標	サ	%		100	100	100	100	100	100
	シ	%		100	100	100	100	100	100
	ス	%				25	100	100	100

事務事業ID	0758	事務事業名	議会広報支援事務
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
議員の生の視点で、議会の活動状況伝える「議員手作りの議会報」を発行したいという提案が有志議員からあり、議会だより発行規程を設けて、編集を開始。会議録については、議会制度の導入とともに、開始。検索システムは、平成17年度から導入。 また、議会活動の活性化を図る議会改革特別委員会での討議の結果、本会議等の公開を推進する目的で、平成26年1月から市民ホールへの議場中継を開始した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
昭和62年創刊以来、市議会だより発行規程に基づき、議員手づくりによる編集発行を行っている。 会議録は、冊子として印刷し、議員に配布するとともに、18年3月からは市ホームページに掲載し、インターネットでも閲覧可能になった。 議場中継については、市民がより気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようになった。 全国的に、議会の運営や透明性の確保など、議会改革の機運が高まっており、議会のインターネット中継など、様々な取り組みが各地でなされている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
紙面についての市民の意見はそれぞれあると思うが、編集委員会の業務を議会事務局職員が支援する事業については、特にない。紙面についても、編集委員が、分かりやすく親しみやすい紙面づくりを行っている。市ホームページへの会議録の掲載や議場中継について意見は特に寄せられていないが、市民にとって議員活動を理解する一手段となっており、議会に対する関心が深まることが期待できる。			

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、発行回数、ページ数、編集委員会の開催、編集委員会の人数、支援業務に対する職員の従事時間数など、おおそ適当な規模や回数で行っている。
	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、議員で構成している編集委員会だけでは、編集から、校正、発行までの業務をすべて行うことは困難である。会議録の公開や議場中継についても含めて、これらの事務を廃止すると、市民が議会活動に触れる機会が大幅に減少し、ひいては議会活動の低下を招く。また、情報量も少なくなり、議会活動が時代に即応しないものになっていく可能性がある。最終的には議会の機能事態が、低下していくものと考えられる。	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ホームページ、市の広報。情報通信技術の進歩等により、会議録の閲覧や、調査情報収集の方法も変化すると思うが、事務事業としては、他の手段はない。 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。
	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。
効率性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、仮に発行回数やページ数を減じれば、現在も決して余裕をもって作成しているわけではないので、議会活動を市民に十分には伝えられなくなる懸念がある。会議録の公開・議場中継については、管理運営・保守業務等を業者へ委託しており、最低限の事業費となっている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、議員が主体的に行っているとはいっても、議員だけで発行まですべて行うことは困難であり、支援を行っているという点で、広報を読む市民にとっても、支援を受ける編集委員にとっても妥当な状況ではないか。会議録の公開・議場中継については、市民に会議録が広く閲覧されたり、議会の様子が視聴されたりすることにより、議会活動が一層充実したものになっていくと思われる。	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 議会だよりについては、議員が主体的に行っているとはいっても、議員だけで発行まですべて行うことは困難であり、支援を行っているという点で、広報を読む市民にとっても、支援を受ける編集委員にとっても妥当な状況ではないか。会議録の公開・議場中継については、市民に会議録が広く閲覧されたり、議会の様子が視聴されたりすることにより、議会活動が一層充実したものになっていくと思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	議会だよりについては、年4回という発行回数、発行期日を守り全戸配付することにより、市民に議会の活動を速やかに伝えることができた。 会議録の作成については、臨時会の開催回数が多く校正作業に時間を要したため、ホームページ公開までに多少の時間を要した。 平成26年2月の定例会から市民ホールへの議場中継を開始し、市役所来庁者が気軽に議場内での会議の様子を視聴できるようにした。 今後、インターネット中継の実現など、より広報の充実を図る必要がある。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) より多くの市民に議会活動を理解していただくため、今までの取り組みのほかに平成26年度からのインターネット中継の導入を目指す。また、議場に実際に足を運んで議会傍聴する市民の増加を目指す。 現在、会議録のホームページ公開は議場で行う本会議、特別委員会となっているが、今後は全員協議会の会議録の公開を検討する必要がある。 また、さらに議会広報の充実を図るため、インターネット中継などの実現に努めたい。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
議会傍聴者の増加のためには、議会に対する興味を持っていただく必要があり、そのためには、議会だより紙面の工夫やホームページの充実などの広報が重要となってくる。																						

	(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	議会事務局長 金野敏夫

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい																						
☐ 一部記述不足のところがある																						
☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)																						
☐ 一部に客観性を欠いたところがある																						
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	議会活動への関心を高めるため、さらにインターネット中継の実施など、より市民に開かれた議会への努力が必要である。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 議員手作りによる議会だよりの発行、市民ホールへの議場中継等の継続に併せ、インターネット中継などの実現に努め、議会広報の充実を図る。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項